

令和6年度取組状況

ものづくり工学科 一般科 教授 本多典子

取 組 状 況	
教育	1. 「国語Ⅰ」では、社会生活に必要な日本語の基礎や古典に親しむための基礎的読解力を身につけさせることができた。 2. 「国語Ⅲ」では、評論文を正しく読み取る読解力を身に付けることができた。また、「鞆」・「旅する本」など多くの文学作品の読解を行い、自ら読み味わう経験をさせることができた。 3. 「日本語表現Ⅱ」では、わかりやすいスピーチの実践活動で成果を得た。 4. 「表象文化Ⅱ」では、絵巻・絵本・絵画・アニメの読解や鑑賞によって、日本の伝統文化およびその表現方法への興味を大いに喚起することができた。
研究	1. 教育改善研究として「日本語と日本文学の研究」との研究課題において、研究を進め学生の教育にも反映させることができた。特に、「表象文化Ⅱ」の講義および「課題研究」に向けて、中世のノン語りや絵巻に関する研究を進めることができた。その成果は十分に授業に還元し、技術・工学系の学生に日本文化に対する見識をもたせ、また興味を喚起することができた。研究と教育において相乗効果があった。
社会貢献	1. OPC講座「書くためのアイデアの見つけ方」（中学生対象）を開講した。 2. 教員シーズ集に情報を公開し、地域等からの要請に応じて対処・貢献できるよう準備した。 3. 地域交流室・広報室からの諸行事における一般科目教員へのヘルプ要請に応え、中学生への入試問題解説会などにおいて貢献した。